

## 宮本憲一先生の講演

10月15日午前、宮本憲一先生の講演が名大の豊田講堂シンポジオンホールであった。名大「第12回ホームカミングデー・学術講演会」として企画されたものだ。

講演テーマは「日本公害史の教訓をアジアと現代の日本へ」であり、パワーポイントを使い、1時間あまり話された。パワーポイントを使った宮本先生の講演を聴くのは、初めてだと思う。やはり「パワー」がある。



『恐るべき公害』から50年にわたる研究成果『戦後日本公害史論』の社会的意義、そのアジアでの評価から話は始まる。公害先進国と言われた戦後日本の公害について、大都市圏の公害、熊本水俣病、新潟水俣病、イタイイタイ病、四日市大気汚染公害、自然・景観の破壊を概説する。そして公害の社会的特徴を3点あげ、公害の構造的原因を個別企業の失敗だけでなく、経済成長優先の政治経済社会の構造的欠陥によるとする。

公害反対の世論と運動こそが、環境政策の原動力である。画期となった事例として、三島・沼津・清水2市1町の市民によるコンビナート誘致反対運動を紹介する。環境政策を振り返るなかで、公害は終わらないとして、「四大環境問題」をあげる。水俣病、最悪の公害である原子力発電所事故、アスベスト労災・公害問題、沖縄辺野古基地問題。さいごに「歴史は未来の道標」として、戦後の公害史の歴史的教訓から、しっかり学ぶことを呼びかける。

講演のあとは南川秀樹・元環境省事務次官らとの討論。自動車や中国の環境問題、「環境民主主義」など興味深いやりとりもあった。討論のまとめとして、宮本先生は国立大学法人化後の予算削減をとりあげた。基礎研究がおざなりにされ、原発や軍事関係に予算が重点配分される傾向に警鐘を鳴らしたのが、とりわけ印象に残った。



会場前には、「宮本憲一先生の研究紹介」コーナーも設けられていた。次ページ写真にあるように、宮本先生は11月にも名大で講演される。

名古屋大学高等研究院主催の「名古屋大学レクチャー2016 公開講演会」だ。こんどは広い豊田講堂が会場である。超満員になるよう、多くの人に参加してもらいたい。



(2016年10月17日)

名古屋大学レクチャー2016  
公開講演会

名古屋大学  
NAGOYA UNIVERSITY



持続可能な社会への道  
—戦後公害の歴史的教訓から—

2016.  
11/19 土

会場：名古屋大学豊田講堂

時間：13:00-15:40

主催：名古屋大学 共催：中日新聞社

協力：名古屋大学リーディング大学院（PhDプロフェッショナル登壇）

【申込締切】 2016年10月31日（月）必着  
※当選者には郵送し連絡いたします。

【申込方法】 住所・名前・年齢・職業（学校名、学年）・電話番号・希望人数（本人含む）を明記の上、郵送（〒464-8601 名古屋市中区栄区不老町 名古屋大学高等研究院）で送付ください。はがき、1人1枚とします。名古屋大学高等研究院ホームページ（<http://www.ia.nagoya-u.ac.jp/>）やQRコードからも申し込みいただけます。



プログラム

12:30- 開場

13:00- 開会の挨拶（名古屋大学総長 石塚 隆一）

13:05- 解説講演

戦後日本公害史と“宮本経済学”の意義  
名古屋大学経済学部教授 一橋大学名誉教授 寺西俊一



13:30- 名古屋大学レクチャー権 贈呈式

13:45- 休憩

14:00- 名古屋大学レクチャー

持続可能な社会への道  
—戦後公害の歴史的教訓から—  
名古屋大学名誉教授 筑波大学名誉教授 宮本憲一



15:30- 閉会の挨拶（筑波大学総長 藤原 正剛）

\*本日の講演は録音・録画されず、生放送となります。

参加無料

どなたでも参加できます

名古屋大学レクチャー2016に関するお問い合わせは

名古屋大学高等研究院 TEL.052-788-6153

